

令和6年度

小郡市教育支援センター「りんく小郡」要項



Link
OGORI

小郡市教育支援センター
「りんく小郡」

目 次

1 設置目的	1
2 設置期間及び所在地	1
3 開設期間と学習時間	1
4 対象児童・生徒	1
5 入級までの流れ(手続き)	1
6 本年度の重点的取組	2
7 指導スタッフについて	2
8 活動内容	2
(1)学習 (2)体験的活動	
9 通級生の出席の取り扱いについて	3
10 通級生の評価・評定(通知表)について(通級生在籍の学校へ)	4
11 連携について	4
12 令和6年度 教育支援センター「りんく小郡」主な行事予定	5

教育支援センター「りんく小郡」

令和6年度

1 設置目的

学校に行けなくて悩んでいる小学生・中学生の安心できる居場所をつくり、学習活動やコミュニケーション活動等の支援を通して学校教育への復帰や社会的自立に向けた力を育む。

2 設置機関及び所在地

- 設置機関・・・小郡市教育委員会
- 所在地・・・小郡市二森435番地1 小郡市教育センター内
TEL 0942-73-4044
FAX 0942-73-4045

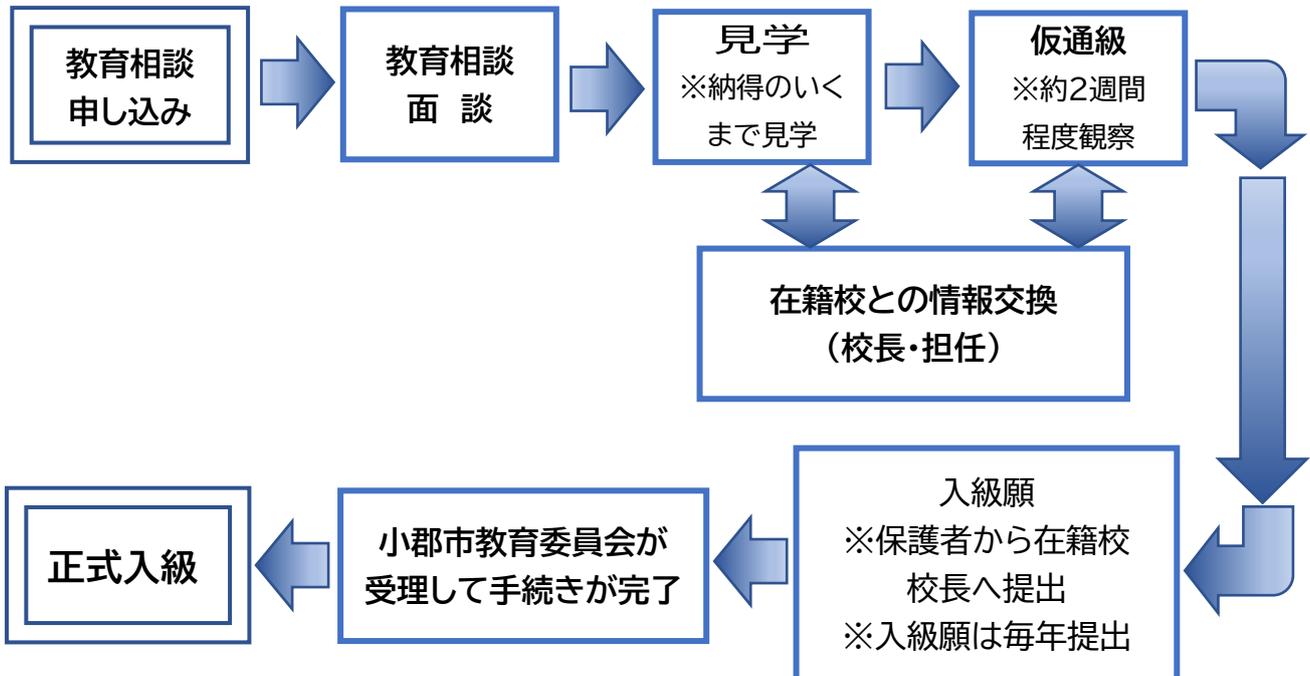
3 開設期間と学習時間

- 毎週月曜日～金曜日(土・日曜日、祝祭日、在籍校の休業、長期休業期間及び年末年始は休み)
- 9:45～15:00

4 対象児童・生徒

通級及び自立的な活動が可能な児童・生徒で保護者が教育支援センター「りんく小郡」に通級することを希望し、かつ在籍校の校長が同センターに通級することを認め、小郡市教育委員会において同センターにおける支援が必要と判断された児童・生徒。(ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、個の困難さに応じた支援が充実していることから、通級は原則受け入れていません。)

5 入級までの流れ(手続き)



6 本年度の重点的取組

本年度は次の5点を重点的に取り組みます。

- (1) 教育相談や体験通級期間の観察の充実を図り、通級者の**困難さ**に応じた具体的な支援を行います。特に、学習理解の不安や内容の未習得が不登校の要因になっていることが多く、学力保障の観点からも基礎的な学力の定着や学習習慣の形成を図ります。
- (2) 構成的グループエンカウンター(SGE)やグループワークトレーニング(GWT)、さらにはカードゲームなどを適時に配し、入級生相互の心が通い合う体験を通して集団への適応力を高められるように支援します。
- (3) 不登校児童・生徒と学校(担任)とをつなぐ役割を果たすため、日々の学校との情報交換を密にし、連携を深めます。通級者が学校復帰できた場合、学校と連携して児童・生徒の不安の少ない登校を支援します。また、電話相談や来室相談の段階で、相談者の了解のもと、在籍校との情報交換をしながら支援策を共有し、連携をすることで不登校の**未然防止に努めます**。
- (4) 保護者が子どもの状況に対して共感的な理解と的確な対応ができるように、送迎時等の相談活動を充実させ、適宜スクールカウンセラーや専門機関とつなぎます。
- (5) 不登校(傾向)児童生徒が早期に専門的相談を受けることができ、支援につながるように、学校、教育支援センター、SSW,子育て支援課など、専門機関が連携して情報共有したり、支援したりできるように**連携の充実**を図ります。

7 指導スタッフについて

○所長(主任教育相談員)・・・渡邊 正則 ○教育相談員・・・林 ^{のりゆき} 法道

○教育相談員・・・手島 ^{まさとみ} 正十三 ○教育相談員・・・古田信也 ○教育相談員・・・長友かよ子

8 活動内容 令和6年度日課表(小学生は各時間 45分)

午前		午後	
朝の会	9:45 ~9:55	昼食・昼休み	12:00~12:45
1校時	10:05~10:55	3校時	12:50~13:40
2校時	11:05~11:55	4校時	13:50~14:40
		清掃・帰りの会	14:40~15:00

(1) 学習

- 1日午前2時間、午後2時間の計4時間の学習を行います。時間割(案)は表1の通りです。
- 学習については、基礎学力の補充に重点をおき、個に応じた支援を心がけます。特に学習に自信がもてない児童・生徒に対しては、学年の指導内容にこだわらず、できる内容から段階を踏んで取り組めるように指導します。
- 週の初めや朝の会では目標設定と確認の活動を、週の終わりや帰りの会では振り返りの活動を重視して、自己の頑張りや成長を実感できるように支援していきます。

(2) 体験的活動

表1の計画に基づいて体験活動の時間を設けています。活動の内容に応じて、外に出て学習することもあります。

※1【マイプラン(自主課題学習)】:個々の課題に計画的に取り組む教科学習の時間。

※2【りんくタイム】:年間を見通して以下の内容を計画的に活動する時間。

学校の「総合的な学習の時間」とリンクした学習、社会的スキル訓練(SST)や構成的グループエンカウンター(SGE)、グループワークトレーニング(GWT)、カードゲームなど適時に実施します。

※3【創作・文化・奉仕活動】:季節行事や教育課程に沿って創作したり制作したりする時間。

表1 令和6年度体験的活動も取り入れた学習時間割例(児童生徒個別、校種、学年別時間割を作成)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
1校時	算数	英語	国語	数学	タブレット	国語	国語	国語	外国語	数学
2校時	国語	数学	算数	国語	算数	数学	算数	英語	国語	英語
3校時	☆マイプラン	☆マイプラン	図工	☆マイプラン	☆マイプラン	理科	理科	☆マイプラン	社会	社会
4校時	☆創作・文化奉仕活動		☆りんくタイム		☆創作・文化奉仕活動		☆読書等(しらさぎ号)		☆軽スポーツ	

9 通級生の出席の取り扱いについて

毎月初めに、前月の出席状況を学校と家庭に文書で報告します。出席簿・通知表・指導要録への記入の参考にして下さい。記入の方法は下記の通りです。また、同文書に「りんく小郡」での児童・生徒の様子を記入していますので、担当児童・生徒の状況把握、通知表記入等の参考にして下さい。(ただし、出席状況報告を通知表に添付するなど、そのまま記入することがないよう、取り扱いに注意して下さい。)

出席簿	教育支援センターの出欠に関わらず、在籍校に登校していなければ、在籍校の出席簿は欠席扱いになる。
通知表	○出席すべき日数:在籍校の出席すべき日数を記入する。 ○出席日数 :在籍校に登校した日数と教育支援センターに通級した日数の合計日数を記入する。 ○欠席日数 :学校の欠席日数から教育支援センターに通級した日を引いた日数を記入する。
指導要録	出席すべき日数と欠席日数については通知表と同じとする。 出席日数についても、通知表と同様に記入するが、出席日数の下に教育支援センターに通級した日数のみを内数として()で表し、備考欄に(教育支援センターに通級した日数)と記入する。

10 通級生の評価・評定(通知表)について(通級生在籍の学校へ)

数値化した評定は難しいので、所見欄等を重視して、担任や各教科担任からの一言を記入したり、「りんく小郡」での活動記録を基に励ましの言葉を添えたりする等、配慮をお願いします。

※家庭通知表に関しては、在籍校への登校、学習活動、テスト等の結果のみではなく、「りんく小郡」における学びの様子も、学力の3要素に照らし記入できるのではないかの検討をお願いします。

※《定期考査について》…各学校で実施される定期考査(中間・期末等)は、原則として在籍校で受験するように指導しています。受験の際は、生徒の状況に応じて、別室受験等の配慮をお願いいたします。また、定期考査前の勉強の支援(プリント等)へのご協力をお願いいたします。

11 連携について

子ども達の学校復帰については、学校・保護者・教育支援センターがしっかりと連携をとって支援することが大切です。そこで、三者の連携を取り合うために、次の4点を基本的留意事項としています。

- (1) 不登校児童・生徒の現状を把握し合います。小さな変化でも気になることは、時機を逃すことのないように連絡し合うようにします。
- (2) 双方の行事参加等への誘いかけは事前に連絡し合い、参加について適切に判断します。
- (3) 支援をより効果的にするために、学習や活動の様子の相互参観、研修等の交流を行います。
- (4) 学力保障の観点からも、授業内容や学習プリント、授業進度等密に連携し合います。その際、オンラインでの授業について、児童生徒の状況に応じて可能なやり方で取り入れていきます。

《具体的な連携について》

- (1) 「担任の会」について

必要に応じて、担任によるリンクでの活動参観や相談員の学校の学習参観などを実施する。

児童生徒の通級状況に応じて、随時「担任の会」の開催を計画する。

- (2) 出席表の送付について

月初めに、出席の状況と子どもの様子について記入し、在籍校長、保護者に届けます。

- (3) 機関紙「りんく」の発行について

必要があれば発行し、在籍校長、保護者に届ける予定です。(掲示はしません)

- (4) 「面談」「通級生保護者会(親の会)」について

保護者との交流の場を設け、学習や懇親に努めるとともに、家庭と教育支援センターの連携を深めます。通級生保護者会(グループ・カウンセリング)については、必要に応じて開催し、保護者同士の交流を深めるとともに、子どもへの有効な支援に資する情報交換・共有の場となるよう計画します。(カウンセラーも心理の専門家として参加)

令和6年度 教育支援センター「りんく小郡」主な行事（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	月 (りんく休業日)	水	土	月	木 (りんく休業日)	日	1
2	火	木	日	火	金	月	2
3	水 ポピー見学	金	月 憲法記念日	水 芋苗植え	土	火	3
4	木	土	火	木	日	水	4
5	金 小中学校始業式	日	水	金	月	木	5
6	土	月	木	土	火	金	6
7	日	火	金	日	水	土	7
8	月 りんく開校日	水	土	月	木	日 大原・立石中体育大会	8
9	火	木	日	火	金	月 大原・立石中代休	9
10	水 中学校入学式	金	月	水	土	火	10
11	木 小学校入学式	土	火	木	日	水 山の日	11
12	金	日	水	金	月	木 振替休日	12
13	土	月	木	土	火	金 学校閉庁日	13
14	日	火	金	日	水	土 学校閉庁日	14
15	月	水	土	月	木 海の日	日 学校閉庁日	15
16	火	木	日	火	金	月 学校閉庁日	16
17	水	金	月	水	土	火	敬老の日
18	木 全国学力学習状況調査	土	火 福岡県学力調査	木 りんく夏休前休業日	日	水	18
19	金	日 中学校体育大会	水	金 修業式(小郡市小学校を除く)	月	木	19
20	土	月 小郡、三国、宝城代休	木	土	火	金	20
21	日	火	金	日	水	土	21
22	月	水	土	月 (りんく休業日)	木	日 秋分の日	22
23	火	木	日	火	金	月 振替休日	23
24	水	金	月	水	土	火	24
25	木	土	火	木	日	水	25
26	金	日	水	金	月	木	26
27	土	月	木	土	火	金	27
28	日	火	金	日	水	土 修業式(小郡市小学校を除く)	28
29	月 昭和の日	水	土	月	木 りんく始業日2	日	29
30	火	木	日	火	金	月	30
31		金		水	土		31

は「りんく」休業日です。

	10月	11月	12月	令和7年1月	2月	3月	
1	火	金	日	水 元日	土	土	1
2	水	土	月	木 年始の休日	日	日 奉仕活動	2
3	木	日	火	金 年始の休日	月	月 不登校対策連絡会②	3
4	金	月 振替休日	水	土	火	火	4
5	土	火	木	日	水	水 りんく卒業式	5
6	日	水	金	月 (りんく休業日)	木	木	6
7	月	木	土	火	金	金 中学校卒業式	7
8	火	金	日	水	土	土	8
9	水	土	月	木 りんく始業日3	日	日	9
10	木 小郡市小学校前期修業式	日	火	金	月	月	10
11	金 秋季休業日	月	水	土	火	火 建国記念の日	11
12	土	火	木	日	水	水	12
13	日	水	金	月	木	木	13
14	月 スポーツの日	木	土	火	金	金 小学校卒業式	14
15	火 小郡市小学校後期修業式	金	日	水	土	土	15
16	水	土	月	木	日	日	16
17	木	日	火	金	月	月	17
18	金	月	水	土	火	火	18
19	土 小学校運動会(小郡立石大原)	火	木	日	水	水	19
20	日	水	金	月	木	木	20
21	月 小学校運動会代休	木	土	火	金	金	21
22	火	金	日	水	土	土	22
23	水	土	月 勤労感謝の日	木 りんく冬休前休業日	日	日 天皇誕生日	23
24	木	日	火	金 中学終業式	月	月 振替休日	24
25	金	月	水 (りんく休業日)	土	火	火 (りんく休業日)	25
26	土 小学校運動会(上記以外)	火	木	日	水	水	26
27	日	水	金	月 学校閉庁日	木	木	27
28	月 小学校運動会代休	木	土	火	金	金	28
29	火	金	日	水		土	29
30	水	土	月	木 年末の休日		日	30
31	木		火	金 年末の休日		月	31